



加曽利貝塚博物館友の会 会員有志による企画 『縄文の丘 見学会』のお知らせ

このたび縄文土器の製作活動で知られる戸村正巳氏のご自宅である「創作空間 縄文の丘」を見学させていただけることになりました。「縄文の丘」は八街市用草(やちまたしもちくさ)にあります。交通の便があまり良くないので、マイカーで参加することとし、現地集合・解散といたします。

⇒下記【アクセス】の項、特に、《迷わないために》をよくお読みください。

【日時】 4月5日(金)、12時半～15時半

【集合】 12時半「縄文の丘」

【食事】 各自お弁当と飲み物を持参し現地で頂きます。

【参加費】 300円(手土産代)。当日持参。車ごとにまとめて清水純一にお渡しください。



戸村正巳氏のプロフィール

1954年千葉県山武郡芝山町生まれ。

小学校4年生の時に縄文土器を拾い、数千年も昔の土器が掌の上にあることの不思議さに感動し、以後縄文の虜になる。

高校2年生の時に千葉県加曽利貝塚博物館で今日の土器製作活動の草分けである新井司郎氏と出会い土器製作の手ほどきを受ける。新井氏の逝去後、師の意思を引き継ぐ思いで土器製作活動を展開。今日に至る。

【アクセス】(裏面にある)「縄文の丘案内図」をご覧ください。縄文の丘(住所は八街市用草1398)を訪れるための当日の行動を考える材料として、ここで仮に《用草ルート》および《川上ルート》と呼ぶ2つのルート、そして、それらを応用した周遊ルートの例を挙げておきます。

《注意》 電子機器(カーナビなど)は、「縄文の丘」の住所(八街市用草1398)を指定しても、「縄文の丘」に通じる細道に入るルートを正しく案内してくれない可能性があります。

《迷わないために》 カーナビに設定する目的地は、近くの公共施設、すなわち、用草公民館(住所はモチクサ:用草1044-1)または川上幼稚園(住所はオオヤル:大谷流717)とし、そこから先は、「縄文の丘案内図」に従って進むようにすれば迷わないでしょう。

【左】 用草ルート(千葉駅発 片道18.6km)

経由地:小桜橋通り、千城台、県道53号、塩古道、桜並木、用草公民館

<https://ridewithgps.com/routes/45366597>

【右】 川上ルート(千葉駅発 片道17.9km)

経由地:国道126号、県道53号、川上幼稚園

<https://ridewithgps.com/routes/45366514>

【左下】 周遊ルート(小倉台発着 周遊 26.5km)

経由地:往路は用草経由、帰路は川上経由

<https://ridewithgps.com/routes/45368242>

【企画】特定非営利活動(NPO)法人

加曽利貝塚博物館友の会 会員有志

【問合せ・参加申し込み先】

久保勢津子

《携帯》090-4547-1608 《e-mail》kubos@wave.plala.or.jp

渡辺 栄一

《携帯》090-9399-7263 《e-mail》e.watanabe2008@gmail.com

【申込み締め切り】 令和6年3月28日(木) 《一週間前まで》



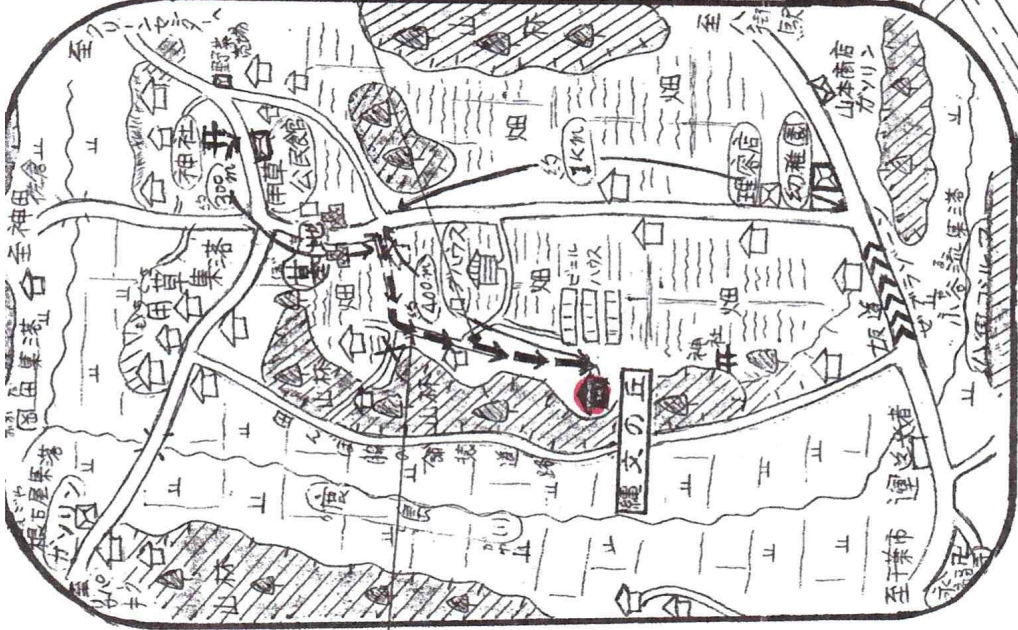
〒289-1138
千葉県八街市南草 1398
TEL 043 - 445 - 6593
戸村正己

4191
090-4170-7855

—— 創作空間 縄文の丘 案内図 ——



(縄文の丘周辺詳細図)右地図対照



井
トトロの看板
あり
先ず道の両側に墓地
がある地点を目標に來て
下し。そこで太い縄に
従って400メートル程入ると
いよいよ林の中に在り
ます。

